



第127回日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会総会 機器展示レポート

2026.5.20～5.23 (仙台国際センター)



河野医科器械株式会社

【永島医科器械㈱】



- SNユニットエクセレンス230
 - ・長年医療現場で培われたノウハウをフィードバック
 - ・N-3型ノズル交換ワンタッチ式スプレー
 - ・カラーバリエーション有り
 - ・清拭し易いフラットトップ



- RAYSCAN m+
 - ・頭部CTのみならず、鼻のレントゲン、胸部のレントゲンも撮影が可能
 - ・コンビームCTは空間分解能に優れ、放射線被ばく量も少ない

【㈱モリタ製作所】



- ユニット オウリスRX50
 - ・エア供給管路、吸引管路に多孔質中空糸膜フィルターを搭載
 - ・吸引管路洗浄システム自動洗浄・排水仕様を選択すると吸引管路の洗浄が可能

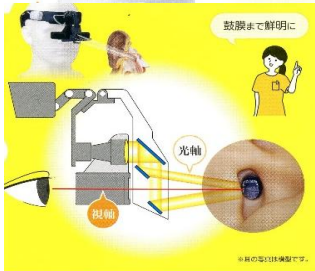


- 頭部用X線CT装置 FX800
 - ・高精細360°モードと低照射線量の180°モードを搭載
 - ・1400×1400mmの省スペースで設置可能
 - ・X線を水平照射することでアーチファクトを抑制
 - ・顎台の方さが825mmまで下がる為、立位、座位、車いすに対応

【㈱近藤研究所】

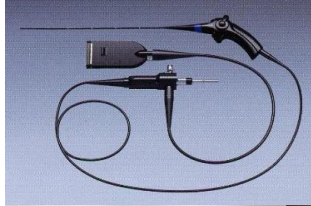


- 両眼立体視ルーペ
プレミアム鼓膜フォーカス ML-700B…バッテリー式 ML-710B…コードレス式
 - ・ヘッドギアタイプも有り
 - ・メガライトアップ用やプレミアムフォーカス用にオプション設定有り



- ・鼓膜が鮮明に見える
 新型モデル
 ・「視軸」と「光軸」が同軸の為、影無く観察
 ・光源からの光を2枚のミラーで反射させ、視軸はその間を通る様に設計されている

【オリンパスマーケティング㈱】



- 耳鼻咽喉科用
ビデオスコープ ENF-V4
 - ・先端外径2.6mmで小児や鼻腔の狭い患者様への挿入性向上
 - ・ピストルグリップで操作性アップ



- 手術用顕微鏡システム ORBEYE
 - ・4K3D画像によるヘッスアップサージャリーの実現
 - ・術者の動きとモニター映像のタイムラグが殆ど無
 - ・執刀医は接眼レンズから解放される
 - ・良好なワーキングスペース

【カールストルツ・エンドスコーピー・ジャパン㈱】



- 手術用顕微鏡システム VITOM EAGLE
 - ・4K3Dヘッスアップ手術
 - ・内視鏡とシームレスに切替
 - ・術者の負担を軽減
 - ・蛍光観察可能
 - ・CO2レーザー併用可能 (写真はCO2との併用)

【日本メドトロニック㈱】



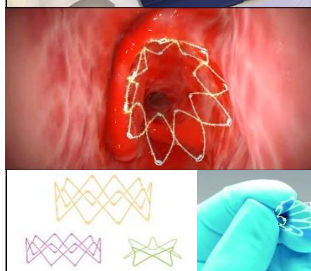
- ENTナビゲーションシステム Stealth Station ENT
 - ・症例に応じて2種類のエミッターを使い分ける
 - ・頭の下に敷くフラットエミッターと手技に合わせてセッティング可能なサイトマウントエミッター

※エミッターとは
磁場を発生させ、器具先端のセンサーが検出



- ステロイド溶出型生体吸収性副鼻腔ステント PROPEL

- ・慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下副鼻腔手術(ESS)の術後管理
- ・自己拡張型ステントが副鼻腔の開存性を維持
- ・非閉塞設計により留置後も鼻腔のクリアランス維持と局所洗浄の送達が可能
- ・留置後30～45日で生体に吸収。抜去不要
- ・約30日間にわたりステロイドを局所に持続
- ・ステロイドは60日間滞留



【サクラ精機㈱】



- 卓上洗浄器
BLUNIX60B
 - ・予洗⇒本洗浄⇒すすぎ⇒除染⇒乾燥を全自動で行う
 - ・チャンパー容量54ℓ
 - ・90℃ 5分間 熱水処理は国際規格を満たす
 - ・定価 本体165万円

【パナソニック㈱】



- 自動ジェット式器具
洗浄機 病棟用
NP-TMM7-B
 - ・洗い⇒すすぎ⇒消毒⇒乾燥で約112分
 - ・乾燥なしのスピーディー洗浄で36分
 - ・熱水消毒は80℃10分
 - ・手洗いよりも経済的
1年間で手洗いとの差約49万円（人件費を含め1日4回で計算）
 - ・定価 本体58万円

【日本ストライカー㈱】



- 廃液・排煙マネジメントシステム **Neptune3**
 - ・手術室で使用、手術部位から出る液体やサージカスモークの吸引及び回収に使用
 - ・使用後ドッキングステーションに接続することで廃液の排出とキャニスター内の洗浄を自動で行う
 - ・4ℓと20ℓの2種類の廃液回収・デジタル計測可
 - ・常時閉鎖型システムにより手術室スタッフをバイオハザードから守る

【日本シグマックス㈱】



- 汎用超音波画像診断装置 ホットエコ
miruco CL5
 - ・コンベックスプローブとリニアプローブの2種類搭載
 - ・ケーブルレスで扱い易い
 - ・本体 495,000円（タブレットは含まず）
 - ・2時間の連続使用可
 - ・リースやローンでの購入も可能

【㈱NEXUS-Arc】 ※旧 ㈱ ellman-Japan



- ラジオ波メス
SurgiNexus RF-SNX110
 - ・モノポーラ 4.0MHz
 - ・バイポーラ 1.7MHz
 - ・CUT(純切開モード)
 - ・BLEND(混合切開モード)
 - ・COAG(凝固モード)
 - ・BIPOLAR(微細凝固)
 - ・BIPOLAR(切開・凝固モード) の5つのモード
 - ・定価 本体128万円

【コニカミノルタ㈱】



- 超音波診断装置
SONIMAGE MX1 α
 - ・耳鼻咽喉科診察ユニットに取付可能なコンパクトタイプのエコー
 - ・本体重量 約4.5kg
 - ・スリープ状態から15秒で起動
 - ・院内システムとの連携が可能 無線LAN対応
 - ・納入価200万円(税別)程度

【DKSHマーケットエクステンションサービスジャパン㈱】



- 炭酸ガスレーザー
DEKA SmartXide touch
 - ・10,600nmの波長を有するCO2レーザー
 - ・止血、切開、蒸散、凝固が可能
 - ・最大出力60W
 - ・Hi-scan Surgical マイクロサージャリーをアシスト
 - ・イーゼースホットハイブリッド マイクロマニピュレーター 顕微鏡下手術において高い汎用性を実現

【フェザー安全剃刀㈱】



- 扁桃刀替刃 **K-40**
 - ・口蓋扁桃摘出に使用
 - ・粘膜切開に適した刃先形状と優れた切味
 - ・刃厚は0.6mm
 - ・定価 5コ入 17,500円
 - ・ハンドル NF-150S 1本 15,000円 NF-175S 16,000円

【コデン㈱】



- 患部観察用カメラ
PEN CAMERA
 - ・体表面または患部の情報をモニターに映し出し患者への説明に使用
 - ・PE1 100万画素 21万円
 - ・PE2 200万画素 24万円
- 鼓膜観察用カメラ
PEN CAMERA PE-E16
 - ・定価 16万画素 24万円

【㈱ZERO】



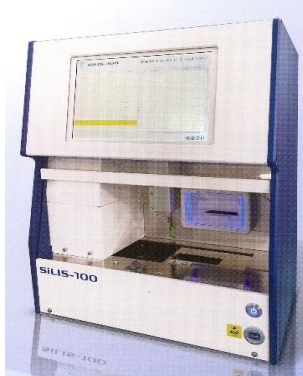
- vHIT用眼球運動計測装置 **SYNAPSYSvHIT**
 - ・ゴーグル装着、キャブレレーション不要(唯一の機能)
 - ・僅か数分で左右計6半規管の機能評価可
 - ・標準検査 20点、ビデオヘッドインパルス検査300点
- ビデオ式眼球運動検査計測装置 **BioMed**
 - ・1台のカメラで(VOG)ビデオ式眼球運動検査と(vHIT)ビデオヘッドインパルステストが可能
 - ・安定した双眼ゴーグル
 - ・コストパフォーマンスに優れたソリューション

【日本ケミファ㈱】



- 移動式免疫発光測定装置 ドロップスクリーンA-1
- ・検体量 20 μ L
- ・全血検査は遠心分離不要
- ・測定項目41項目
- ・測定時間30分
- ・特定原材料8品目中7品目 特定原材料に準ずるもの20品目中11品目
- ・W262×D380×H385

【タカノ㈱】



- 移動式免疫発光測定装置 SiLIS-100
- ・検体量 40 μ L
- ・検体の遠心分離必要
- ・測定項目45項目
- ・測定時間15分
- ・特定原材料9品目中9品目 特定原材料に準ずるもの20品目中16品目
- ・非特異的IgEも測定可
- ・W400×D240×H520
- ・重量23kg

【フィッティングクラウド㈱】

- 生成AI使用医療文章生成システム Cocktail AI
- ・①生成AIによるテンプレートを利用した診療録からの医療文章生成
- ②3省2ガイドライン準拠
- ③個人情報保護法への適切な対応
- ④入力した診療録は生成AIモデルの学習に利用されない
- ・紹介初診患者の代行記事入力 20分⇒3分に
- ・AIに要約して欲しいファイルを添付⇒サマリを作成
- ・初期費用200万円 月額15万円/月



【アニマ㈱】



- 頸部筋力計 C-1
- ・頸部筋力の定量的評価が可能
- ・嚥下障害者の客観的筋力評価
- ・被験者の体格・肢位によらず調整可能
- ・リハビリ訓練前後の推移を評価し治療に貢献
- ・定価 58万円

【㈱メディアート】



- 医科専門コンテンツ配信システム メディチャンネル
- ・動画と音で視線を集める院内広報ツール
- ・アニメーション主体の分かり易いコンテンツ
- ・オリジナルコンテンツもプロのクリエイターが制作

【㈱メディカルプログレス】



- 手術用ルーペ
- ・Looks2500 ×2.5 眼鏡仕様 238,000円
- ・Looks2800 ×2.8 眼鏡仕様 268,000円
- ・Looks3200 ×3.2 眼鏡仕様 328,000円
- ・TTL型(埋込型)によって広い視野を実現
- ・高解像度レンズを採用



- ・ワイヤレスLEDヘッドライト 定価 198,000円
- ・ワイヤレスLEDヘッドライト ハロゲン色 218,000円



- ・LEDライトシステム L2SX5 289,000円

【ソニー㈱】



- におい提示装置 NOS-DX1000
- ・室内でにおい汚染を抑制し、嗅素(においの素)を手軽に提示
- ・専用の設備や部屋を必要としない
- ・素早におい提示 (嗅素切替時間 約3秒)
- ・医療機器承認取得中

【㈱精研】



- 内視鏡洗浄消毒器 ESPAL+タイプC
- ・鼻咽喉用内視鏡の洗浄消毒器
- ・卓上タイプ
- ・チャンネル同時洗浄
- ・漏気チェック機能
- ・洗浄時間は約5分
- ・給排水設備が必要 排水方法はシンクでも可
- ・内視鏡の有効長により高さ600と670mmを選ぶ

【リオン㈱】



- オーディオメーター AA-H2
- ・精密な臨床検査・研究用のハイレベルモデル
- ・雑音下語音聴取能を評価するJ-HINT、J-Matrix testを搭載
- ・語音聴力検査の回答はタブレットへ手書入力
- ・定価 590万円

【日本ライト㈱】



- リスター エリートビュー耳鏡
- ・光ファイバーリング照明
- ・リユースブル、ディスプレイのスペキュラ選択可
- ・フォーカスホイールで焦点深度の調整が可能
- ・定価 16万円

【ダイアテックジャパン(株)】



- アフィニティーコンパクト
(補聴器関連製品)
- ・ACT検査を行う検査
- ・一台で聴力測定、補聴器特性測定、実耳測定等補聴器適合検査が実施可能

※ACT検査とは

雑音下での聴取能を数値化する検査。元々はAPDと言われる検査で、聴力検査では正常な結果が出るが、日常生活で聞き取り困難さが出る場合に行われる検査。しかし、APD検査では聴検室と同等の環境が必要となることからAPD検査を導入する施設が少なかった。特に補聴器に関しては聴力検査の結果を元にチューニングを実施するため補聴器を装着しても聞き取り辛さが改善されないケースが散見されるとのこと。ACT検査はAPDの様な検査環境が不要であり、ヘッドホンのみで検査が可能である。また、欧米ではACTが一般的であるが日本はAPDが一般的である。補聴器の普及率が先進国で低いのは、ACT検査の普及率による物であると考えられている。検査方法→室内で患者さんにヘッドホンをかけてもらう→ザーツという音の中にサイレン音が流れる→雑音下でのサイレン音がどこまで聞こえるか検査する。結果を元に補聴器をチューニングすることが可能。

- ・定価はオープン 実勢価格 200万～250万



- オーティコン社(補聴器)
- ・アフィニティーコンパクトと連携可能な補聴器
- ・ACT検査の結果を元に患者さんごとに聞こえのチューニングが可能
- ・日本での補聴器の普及率は15%程度
- ・定価 70万円(左右)

【HOYA(株) PENTAX ライフケア事業部】



- ビデオプロセッサ
EPK-3000
- ・コンパクトなHDイメージングプラットフォーム

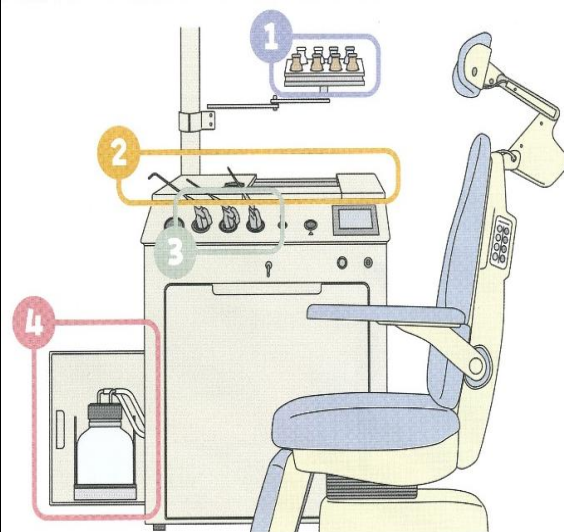
- ・鮮明でシャープな画像と画像強調機能i-scanで精度の高い検査・診断をサポート



- ビデオ鼻咽喉鏡スコープ
VNL-J10シリーズ
- ・VNL8-J10 先端外径φ2.4mmを実現
- ・VNL11-J10 高精細な画像を実現
- ・VNL15-J10 生検等の処置や粘液等の吸引が可能
- ・φ2.0mmのチャンネルを装備 高周波処置具も使用可能 単回使用吸引ボタンを採用し感染リスクを低減



『診察ユニットの管理』



1 薬品瓶

薬品は時間の経過や開栓回数とともに汚染されます。

- 配置数は必要最小限とする
- 瓶は定期的に交換し、滅菌したものを使用する
- ディスポーザブル製品への変更も検討する



2 器材トレイ

器材トレイには、複数のサイズの鼻鏡や舌圧子、吸引管などの鋼製小物が収納されており、最も高頻度で使用されます。複数の器材がある場合、器材を取り出す際に飛散した体液などによる汚染を防ぐ対策が必要です。

器材トレイに扉がついているユニットであれば飛散による汚染は防げますが、扉がない場合は器材トレイに覆いをかける、器材を個別包装する方法が効果的です。

- 器材トレイは1日1回以上、薬液含浸清拭クロスなどで様式清掃を行う



3 噴霧装置

噴霧装置は、スプレーハンドル、スプレーノズル、スプレー瓶の管理がポイントです。

- スプレーハンドルは使用ごとに薬液含浸清拭クロスによる様式清掃を行う
- スプレーノズルの先端は使用ごとにノズルの消毒または交換を行う(ノズルの先端カバーをつける対策も有効)
- スプレー瓶は洗浄後に滅菌し、毎日交換する

薬液は1日で使い切れる量を目安とし、診療終了後に残液は廃棄する。薬液を長時間放置すると、薬液瓶内部の腐食や変色の恐れがある。



鼻腔粘膜との直接 / 間接接触による汚染リスク

患者ごとに手指衛生を実施しない手指で高頻度に接触することによる汚染リスク

薬液の移し替え操作による汚染リスク

4 吸引瓶

ユニット本体の吸引瓶には汚物が溜まります。吸引瓶内に消毒薬を入れておくことは感染対策としての効果はありません。しかし、使用後の洗浄を容易にする目的で酵素洗浄剤などを入れる場合もあります。

- 診療終了後には吸引瓶を洗浄し、乾燥させる
- 作業者は、エプロン、手袋などの個人防護具を着用する



河野医科器械株式会社